

大砂土東小学校 学校応援団だより

発行 大砂土東小学校 学校応援団事務局

見守り活動は雨でも雪でも ～ 児童から防犯ボランティアさんへの礼状

大砂土東小学校 校長 高後 仁

私の職務上の日課の1つに教室訪問（校内巡視）があります。協力し合いながら学習活動に励む子どもたちの姿や個性あふれる図画や書写等の作品に接するたびに、学校経営のエネルギーが沸き上がってくる思いがします。

さて、4か月近くが経ちますが、「防犯ボランティア控室」前の廊下の壁に、子どもたちが防犯ボランティアの皆様宛てて書いた34通のお礼の手紙が、2枚の台紙に貼られて掲出されています。これらは、福祉ボランティア委員会が児童会活動の一環として作成したものです。いずれの手紙も感謝の気持ちが強く込められた心温まるもので、防犯ボランティアの皆様からも好評をいただいております。私はこれらの手紙に、学校応援団全体への感謝にも通じる子どもたちの素直な心根を感じ取りましたので、原文のまま、いくつか紹介します。

- 雨の日もゆきの日もパトロールして下さりありがとうございます。ジャンケンもしてくれてうれしいです。じぶんたちでもこうつうルールをまもったり、あいさつをしたりします。これからもよろしくおねがいします。
- いつもみんなのことも見まもっていただき、ありがとうございます。毎日、とう校と下校があん心してできます。交通じこやこわい人にも会わずにすみません。これからもよろしくおねがいします。
- いつも私たちを守ってくださってありがとうございます。おかげで安全にげこうできています。ぼうはんボランティアさんがあいさつをしてくれると、心がすっきりします。私もあいさつをがんばりたいです。
- 雨の日や雪の日も、ぼくたちを見守ってくれてありがとうございます。いつも安心して登校できるので助かっています。でも、お体に気をつけてください。
- 登下校の時、わたしたち・ぼくたちを見まもっていただき、とてもかんしゃしています。わたしたちがボランティアさんのためにできることがあれば、つづきたいです。
- いつも、わたしたちのために活動していただき、ありがとうございます。仕事ではないのに、毎日防犯ボランティアに参加しているみなさんを見ると、感謝の気持ちでいっぱいになります。これからも活動、よろしくお願いします。
- いつもお忙しい所、私達の通学路のルートを通して、私達の安全を確かなものにしていただきありがとうございます。



「防犯ボランティア控室」前の廊下の壁に掲出されている子どもたちからの礼状

教育資源の活用と開かれた学校作り

学校地域連携コーディネーター 長沼 幸男

1 開かれた学校＝家庭や地域と連携・協力する学校

学校が、社会に対して「開かれた学校作り」を積極的に推し進め、家庭や地域と一体となって子どもたちを育てていくことの重要性については、改めて述べるまでもありません。学校職員など教育関係者のバイブルとも称すべき教育基本法の第13条にも「学校、家庭及び地域住民等の相互の連携協力」が規定されています。

それゆえ本校の校長は、学校経営方針の中の1つに「保護者・地域との連携を密にした協力体制を築き、開かれた学校作りに取り組む」を掲げ、さらに本年度の取組の重点の中で「地域との交流・地域の力の活用」や「地域貢献の推進」を謳っています。

さらに、平成22年7月には、大砂土東地区自治会連合会やお父さんの会等の後押しを受けて「大砂土東小学校 学校応援団」を立ち上げ、子どもたちの体験学習や安心・安全な学校生活の確保等について日常的なご支援をいただく中で、学校と地域・保護者との結びつきを強めています。

2 双方向の連携・協力が肝心

ここでは、教育資源を媒介とした学校と地域の連携・協力について述べることにします。

学校にも地域にも、それぞれ特有の教育資源があります。教育資源は、人的資源と物的資源とに大別できます。

学校が地域とともに子どもたちを育てていくためには、教育資源の一方的な供与ではなく、少なからず双方向の関係にあることが大切だと思います。つまり、「学校の保有する教育資源を地域社会に開放したり役立てたりすること」と「地域の教育資源を授業・クラブ活動等の教育活動や学校運営に導入・活用すること」の両者を並立させることです。双方向の連携・協力こそ、学校と地域の良好な関係を長続きさせる秘訣と言えましょう。双方向の仲立ちは、私の大事な職務です。

以下に、本校と地域との連携・協力の事例を紙面の許す範囲内でお示しします。

	人的資源	物的資源
学校 か 地 域 へ	○金管バンドが大和田自治会や堀崎町自治会の運動会で入場行進曲等を演奏している。 ○「地域のつどい」において児童が合唱を披露した（平成23年度） ○校長が大砂土東地区体育振興会、青少年育成大砂土東地区会及び大砂土東地区社会福祉協議会で理事を務めている。	○大砂土東小チャレンジスクール実行委員会にチャレンジスクール実施のため会議室・図工室・家庭科室・校庭・体育館を貸与している。 ○大和田自治会や大和田幼稚園の運動会に校庭を貸与している。 ○スポーツ少年団（野球・サッカー・ミニバス）の練習に校庭や体育館を貸与している。
地 域 か 学 校 へ	○防犯ボランティアが登下校時等に見守り・見回り等の学校防犯活動を実施している。 ○交通指導員や交通安全を願う住民有志が登校道の道路横断等をフォローしている。 ○3年総合「地域の大先輩に学ぼう」では、多様な知識・技術・経験等を有する人々が毎年20人前後講師として来てくれる。	○2年生活科「もっと町の人となかよくしよう」では、30～40軒の商店・事業所・公共施設が児童のインタビューに協力してくれる。 ○2年生活科や3年社会科では、見沼田んぼ・砂の大ケヤキ・緑地公園等で学習している。 ○4年社会科「消防署見学」では、見沼消防署東大宮出張所が受け入れてくれる。

◆現在活動されている方々（個人・団体）のご紹介◆

「子どもたちから元気とパワーをもらっています」～毎朝の交通安全活動から

大和田町2丁目在住の3名の皆様が、児童の登校時間帯に道路横断等のフォローのため旗振りをしてくださっています。大和田銀座商店会・ハスミカメラ店前の横断歩道における岡本清夫さん、その西方約130メートルの松本皮膚科前の横断歩道における関根マツノさん及び紅葉ヶ丘8番通り東端・第二産業道路上の信号機付き横断歩道における吉岡 久さんです。

学校応援団事務局では、3名の皆様の毎朝の交通安全活動に敬意を表しつつ、活動の様子等についておたずねいたしました（文中敬称略）。

—この活動をお始めになって今年で何年ですか？ また、お始めになったきっかけは？

【岡本】17年目か、18年目です。駅前で踏切がある上、朝は交通量も多いので、子どもたちの安全のために始めました。

【関根】11年目になりました。きっかけは、私の家の前の横断歩道で子どもが車にひかれそうになったと聞いたからです。

【吉岡】9年目です。自治会の防犯パトロール隊発足に参加したことをきっかけに、短時間でもできる活動をしようと思い、児童の安全を願いながら朝の旗振りをするようになりました。

—「この活動をしていてよかった」とお感じになるのは、どのようなときですか？

【岡本】子どもたちの笑顔を見たときです。

【関根】毎朝子どもたちと「おはようございます」「いってらっしゃい」などとあいさつをかわすと、元気もらったような気持ちになることです。

【吉岡】下校時に出会った児童から「朝、いつもありがとう」と言われたときです。また、卒業時に「長い間ありがとうございました」と感謝の言葉をいただいたときも続けていてよかったと思いますね。すばらしい児童の顔が浮かんでくるのが、自分自身何より嬉しいですね。

—活動中に、気にかかるようなことがありましたか？

【岡本】車、自転車、バイク、歩行者の非常識な行動がしばしば気になりますね。

【関根】私が横断歩道の真ん中で旗を出しても、まれに、止まらずにすり抜けるように走っていく車があります。最近では、大和田駅方面からきたトラックが止まろうとしませんでしたね。

【吉岡】特に雨の日や風の強い日などは、「事故のないように……」と願っています。

—活動を通して、ご自身にプラスとなるようなことはありましたか？

【岡本】子どもたちから元気とパワーをたくさんもらっていることです。

【関根】「生きがいを感じている」の一言に尽きますね。

【吉岡】「児童の元気な姿に負けられないように……」と、自分自身の励みになっています。

—子どもたちへのメッセージをお願いします。

【岡本】未来は楽しいことがいっぱいあります。「明るく楽しく元気に！」

【関根】車に気をつけていってらっしゃい！

【吉岡】仲よく楽しく、そして笑顔を忘れずに成長してください。

—最後に、大砂土東小に今後どのようなことを期待されますか？

【岡本】一人一人が自分自身を大切にするとともに、他人を思いやる子どもを育ててください。

【関根】今後も活気のある学校であってほしいですね。

【吉岡】あいさつを大切にし、相手に好感を与えられる心豊かな児童の育成をお願いします。

（取材・編集 学校応援団事務局）

●図書ボランティア・こんぺいとうの会（代表 時岡 卓子 様）

私たち図書ボランティア・こんぺいとうの会は、今年で13年目に入りました。メンバーも64名となり、大所帯での活動です。昨年度の活動及び今年度の活動予定を紹介します。

【昨年度の活動】

- 朝自習の時間に、各学年クラス単位で読み語りを行いました。
- 休み時間に、全学年に対して校内4か所で読み語りを行いました。
- 大型絵本を製作しました。
 - 1学期：紙芝居形式「スイミー」
 - 2学期：仕掛けのある大型絵本「ブレーメンの音楽隊」
- 第1校舎の図書館内及び第2校舎の図書館前の廊下壁面に、それぞれ季節に応じた装飾や学習に関係した装飾を施しました。

【今年度の活動予定】

- 朝自習の時間と休み時間に「おはなし会」を実施します。
- 2学期以降に大型絵本の製作を予定しています。
- 図書館の装飾を行います。
- 傷んだ本の修理や図書館内の整備を行います。
- 学校図書館司書のお手伝いなどをします。

学校応援団としてご協力いただけませんか？

募集

たくさんの方々の思いを一つにして大砂土東小学校を一層盛り上げていただくために、以下のとおりボランティアさんを募集しております。

【放課後チャレンジスクールのボランティアスタッフ】

スクールの開設日時は、長期休業中を除く毎週金曜日の放課後（午後3時開始）です。

あらかじめ登録した子どもたちが小グループに分かれて、サッカー・ドッジボール・一輪車乗り・竹馬乗り・大縄とび・バドミントン・ドッジビー等の活動を行います。ボランティアスタッフの皆様には、始終時の人数確認や子どもたちの活動の見守りを行っていただきます。

【土曜チャレンジスクールのボランティアスタッフ】

スクールの開設日時は、長期休業中を除く毎月第1及び第3土曜日の午前9時から正午までです。

あらかじめ登録した子どもたちが、自主学習・体験活動・スポーツ&レクをそれぞれ45～60分づつ行います。ボランティアスタッフの皆様には、スポーツ&レクの際に子どもたちを見守っていただいたり、必要に応じて体験活動の補助や学習サポートを行っていただきます。

【防犯ボランティア】

学校生活における子どもたちの安全・安心の確保を図るため、授業日の月～金曜日に校門を中心に見回りや見守り等の学校防犯活動を行っていただいております。現在42名（うち保護者は11名）の方が登録されていますが、特に登校時（午前7時40分～8時10分）と下校時（午後2時30分～4時30分）の活動者数が少ない状況にあります。特定の曜日・時間だけで結構ですので、お力添えをお願いいたします。

なお、活動に必要な防犯グッズ（帽子・ベスト・腕章等）は、学校より支給いたします。

～問い合わせ先～

【学校応援団事務局】 大砂土東小学校 048-684-8003
学校地域連携コーディネーター 長沼 幸男